

## 常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、出前県議会、勉強会などの活動を続けています。

### 総務教育常任委員会



6月定例会では、本委員会所管の令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）をはじめ5議案について慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり全員一致で可決すべきものと決定した。

また、新たに提出された陳情「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書の採択について」は、慎重な審査を行った結果、本県では小中学校全学年で少人数学級を導入しており、国では小学校全学年で35人以下学級となるよう義務教育標準法が改正され、中学校の少人数学級の検討も骨太の方針に盛り込まれたことなどから「不採択」と決定した。

### 福祉生活病院常任委員会



6月定例会では、本委員会所管の令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）など8議案について慎重に審査を行った結果、いずれの議案も妥当と認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、今回新たに提出された陳情「精神疾患患者等の新型コロナウイルス感染症受入体制について」は、慎重に審査を行った結果、本県では、精神障がい等のある方を含むすべての陽性者が入院し、メディカルチェックを受けることとしていること、重症度に応じた入院受入体制が整備されていること、関係機関が連携して特性に応じた支援を行う体制が整えられていることから、本県の取組は、おおむね願意に対応していると考えられるため、「不採択」と決定した。

### 農林水産商工常任委員会



6月定例会では、本委員会所管の令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）のほか、知事が認定する民間獣医師による豚熱の発生を予防するための豚熱予防液の接種に関する項目が新設され、豚熱予防液の交付に係る手数料を新たに徴収する「鳥取県手数料徴収条例の一部を改正する条例」や令和3年度から地域ため池総合整備事業を実施することに伴い、市町村の負担金の額を定める「県営土地改良事業等の施行に伴う市町村負担金についての議決の一部変更について」など3議案について慎重に審査を行い、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

### 地域づくり県土警察常任委員会



6月定例会では、令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）など2議案について慎重に審査を行い、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

併せて、新たに提出され審査した陳情2件のうち、「重要土地等調査規制法に反対する意見書の提出について」は、国家の安全保障は国の専権事項であるとともに、このたび国会において可決成立した本件については必要な法律であると認識していること、一方、安全保障と基本的人権や私権に対する制約との兼ね合いに関しては、十分な配慮を講じる旨の附帯決議がなされていることから、「不採択」とすることに決定した。